

第3回大和駅周辺エリアプラットフォーム準備会 議事録

日 時	2025年11月20日（木） 15:00～17:00
場 所	大和市文化創造拠点シリウス 6階 610 大会議室
出 席 者	34名（事務局を除く）
テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ・前回ふりかえりと「みんなで会議」について ・未来ビジョンについて～4つ方向性と取組方針、基本理念、大和駅周辺のワクワクする未来シーン～ ・エリアプラットフォームについて～役割と取組姿勢～ ・今後の進め方

結 論

- ・事務局より改めて、エリアプラットフォームとは何かについて官民連携まちづくりの視点からの説明を行った。
- ・事務局より、今年度作成する未来ビジョンβ版のイメージおよび前回の準備会を踏まえた4つの方向性と取組方針について説明を行った。また基本理念について事務局案として3案提示した上で、グループ討議を行った。

■基本理念に関して挙がった意見の主な論点

- 「大和」という固有性・地域性が伝わる必要がある。
- 「大和」は漢字表記が望ましいという意見が複数あった。
- 既存の大和市のキーワード（健幸都市／図書館の道／子育て王国等）の考慮。
- 誰に向けた理念とするか⇒外からの来街者向け or ローカルの気づきや誇り向け。
- プロムナードを理念に入れるかどうか⇒地域の象徴・中心資源であるという意見が多数あった一方で、限定的すぎるのではないかといった意見もあった。
- 「～からはじまる」「～がひろがる」など未来志向の表現。
- 地域の多様な資源や人をつなげる視点が必要。
- ・ワクワクする未来のシーンについて、グループ討議で盛り込みたい要素等について意見を伺った（当日挙がった意見については、次ページ以降参照）。
- ・事務局よりエリプラが担う役割と取組姿勢の案を提示し、グループ討議を行った。
- ・最後に、エリプラの組織名称検討ワーキングについての提案を行い、メンバー募集の声掛けを行った。また、未来ビジョンβ版の意見募集及び第2回みんなで会議の案内を行った。

■当日の様子



■意見交換の記録

意見交換のテーマ

- ①基本理念案
- ②ワクワクする未来のシーン
- ③エリプラの役割と取組姿勢

< A グループ >

区分	ご意見	
①基本理念案	理念を考えるうえで疑問等	<ul style="list-style-type: none"> ・検討している人にとっても、外からくる人にとってもわかりやすいものであることが望ましいという認識であっているか。 ・理念を考えるのも良いが、結局は人を集めにはどうするか、取組自体と一緒に考えていかないと、無駄になってしまう。 ・他地区ではどんな理念を掲げているのか教えてほしい。
	入れたい言葉等	<ul style="list-style-type: none"> ・色んな人がターゲットにしていくことを踏まえると、多様なターゲット推し ver が好みである。 ・短くて覚えやすいものが望ましい。 ・「やまと」という言葉は入れた方が良いのではないか。 → 「やまと」を他の地域名に置き換えても成立してしまうような内容は望ましくない。大和特有のものが反映されていることが望ましい。 → 「和」を大切にする意味を込めて名付けられた大和市の由来を踏まえると、平仮名よりも漢字表記の方がふさわしい。人と人がつながるという意味合いも、エリプラの組織としての在り方に通じている。 → 「歩けば出会える」というのが「和」であると思う。回遊性をもって広がるような印象を受ける。 ・「健幸都市」「図書館の道」「子育て王国」など、大和市で既に用いられている言葉を活用することが望ましい。新たに理念をつくるだけでは、一体となって動いていくイメージが湧かない。
②ワクワクする未来のシーン	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・イス、テーブル、こたつなどがプロムナードに置いてあり、周囲にはキッチンカーがある。 ・毎週のようにイベントが行われている。 ・自治会員が減少する中で、自治会のイベントも減っている。プロムナードで行われているイベントに自治会としても何か関わりが持てるとい。
	昼マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・日陰がほしい。
	夜マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションがほしい。
③エリプラの役割と取組姿勢	ビジョンを描き発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・東慶州（韓国）の人が骨董市を知っていたことがあった。どこかで発信を続ける意義はある。市 HP で海外へ発信してほしい。 ・エリプラのインスタ等での発信を検討しても良いのではないか。

区分	ご意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・やまフェスは、市から資金援助でなく知恵を借りる形で援助してもらった。
まちの様々な活動や人を束ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・大和の阿波踊りは50年の歴史がある。 ・年間のイベントスケジュールをつくることが求められる。目玉のイベントは既にあり、これらの間を埋めるように常にイベントが開催されるまちになれば良い。また、イベントを行うとなると、開催者と打ち合わせが必要になるため、必然的に地域でつながりを増やしていくような役割をもてる。 ・昼だけでなく夜もイベントがあると良い。 ・やまフェスでは、キッチンカーは市内で活動している人に来てもらっていた。 ・やまフェスでは、電源が足りず、EV車の電源を地域のディーラーに無償で供給してもらった。民間も地域貢献を考えるようになっているため、これを活かすことが望ましい。
試行して検証する	<ul style="list-style-type: none"> ・やまフェスは、青年会議所が中心となり、行政・鉄道事業者・商店街・自治会が一緒になり実施された。“ワクワクしよう！”をテーマに活動していた。夏季開催だが冬も開催できると良いと考えている。このように、失敗は成功へつながり、困ったことは次のチャンスとなるため、失敗を恐れずに進むことが重要である。
仕組みを整える	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの収益をまちに還元するような形が望ましい。 ・お金の動きで人を集めることが役割である。 ・稼げるまちづくりを行わなくても、活動費をペイできる組織であれば良い。

< B グループ >

区分	ご意見	
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチーで覚えやすいものがいいのではないか。（例：「母になるなら流山」） ・フレーズの中に「大和」を入れるかどうかも検討する必要がある。 ・「大和」を入れるなら、ひらがなではなく漢字で表現したい。
	案1： 回遊推し ver	<ul style="list-style-type: none"> ・この案が一番キャッチーでよいと感じた。 ・副題の「きたい」は、「来たい」か「行きたい」かでも受け取り方が変わる。 ・「きたい」には「期待」という意味も含まれるとよいかもしれません。
	案2： 多様なターゲット推し ver	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまととの過ごし方」は相手の想像に委ねられている感じで、伝えたいことが伝えきれないように感じる。
①基本理念案		<ul style="list-style-type: none"> ・この案以外の2つは、外から遊びに来た人に対して何か発見をできるまちであることを主張しているのに対し、この案はローカルな人に対して、まずは自分たちが地域の楽しさを発見しようといったことを主張している案に感じる。まずは、ローカルな人が自分たちのまちの楽しさを発見し、そこから外の人へと広がるといった展開が望ましいと感じる。 ・「～からはじまる・ひろがる」の表現に可能性や未来を感じる。 ・大和といえばプロムナードといったイメージをより定着させていくためにも、「プロムナード」は、ここを象徴する別の言葉やニックネームで表現できると良い。結果、それがエリアの特色づけにも通じてくるのではないか。 ・これからは、プロムナードをいかに使いこなすかがカギである。まずはプロムナード（ハード）からまちを変えていき、その波及でソフト施策も講じていくのがよいと考える。 ・ビジョンの一番トップにくる理念が、プロムナードという限定的なものでよいかは議論が必要に感じる。一方で、皆さんの話を聞いていると、プロムナードは地域にとって重要な資源であると感じた。 ・交通利便性がよいので、外からきてもらう視点も大事であり、プロムナードに絞ってしまってよいかは疑問が残る。 ・大和駅周辺の人口が微増傾向にあることに着目すると、そこへのアプローチも考えていく必要があるよう感じた。 ・シリウスはできてよかったと思う。一方でランドマーク的なものがない。 ・シリウスとプロムナードが分断してしまっているように感じる。
	案3： プロムナード推し ver	

区分	ご意見	
	<p>シリウス～プロムナード～駅前～やまと公園を中心とした検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央通り、昔は図書館、文化会館があったので人が通っていたが今は、それらがなくなり人通りが減ってしまった。 ・大和のお店は場所によっては、初めて来る人は入りにくいローカルなお店も多い。 	
②ワクワクする未来のシーン	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・地図が見づらい。道路やプロムナードに色を塗るなど工夫をしたほうがよい。
	昼マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・昼マップには、もう少し子どもの要素を入れ込んでほしい。例えば、保育園では子どもが遊べる場所をまとめた「公園マップ」を作成しており、参考になると思われる。 ・公園の遊具は多くが対象年齢6歳以上で、保育園児には利用しづらいものが多い。一方で、中央1号公園には保育園児向けの遊具もあり、よく利用されている。
③エリプラの役割と取組姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでプロムナードで複数回イベントを開催してきたが、経験があっても毎回課題が生じる。エリプラがイベントを開催したい人が気軽に相談・依頼できるような頼れる組織となることが望ましい ・プロムナードでの活動事例が紹介されていると良い。 ・プロムナードなどで開催されるイベント情報を一元的に把握できる仕組みがあると望ましい。 ・SNSだけでなく、エリア内の店舗にポスターを掲示してもらうなど、デジタルとアナログの両面で発信できる形が良い。 ・店舗側にもメリットが生まれるような仕組みとすることが望ましい。 ・イベントを実施する際に、外部のイベントなどを紹介・つなげたり、市内の人同士をつないだりするなど、エリアを取りまとめる役割を担える組織になることが望ましい。 ・イベント開催に関して、レンタルや申請代行などを含めたパッケージ支援を提供できるようになると良い。 ・4つの役割の中でも、特に仕組みづくりが重要であると考える。 ・「つなぐ仕組みの探求」は、持続可能、継続、サステイナブルなどの表現も考えられる。 	

<Cグループ>

区分	ご意見	
①基本理念案	案1： 回遊推し ver	<ul style="list-style-type: none"> ・「道すがら」とあるが、むかし出来たようなウィンドウショッピングが今はできなくなっているのでイメージができない。道すがらという言葉と商店街が上手くリンクすると良い。 ・先日のハロウィンは、商店街を大勢の子どもが練り歩いて盛り上がった。阿波踊りも商店街で行われている。商店街を盛り上げる可能性はあるのではないか。 ・回遊性が確保できれば、商店街の活性化につながるのではないか。 ・回遊性が生まれて人のつながりが増えれば、自治会の加入率も上がると思う。 ・例えば昔の一店一品運動は、商店街の特徴づけにつながった。
	案2： 多様なターゲット推し ver	<ul style="list-style-type: none"> ・プロムナード以外のまちを盛り上げたい。
	案3： プロムナード推し ver	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、プロムナードはまちの中心的存在であり、イメージができる。 ・プロムナードは、当初もっと豊かな空間となる計画で、かんざし道路もできる予定だった。 ・プロムナードは、活性化のために活用する要素の一つであるべきではないか。
②ワクワクする 未来のシーン	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・地図に場所の表記がほとんどない。大和駅周辺に魅力のある場所、楽しめる店がないことがよく分かる。 ・一方で、特定の店・スポットは行列ができて非常に盛り上がっている。それで良いのかも知れない。 ・プロムナードのイベントは盛り上がるが、出展する人・来訪する人とも、終了後に食事できる店がなく、藤沢・横浜に行ってしまう。 ・音のクレームがあるためにイベントが十分にできない。 ・西側プロムナードはガタガタで、イベント実施時に苦労している

区分	ご意見
③エリプラの役割と取組姿勢	<p>【プロムナードの管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロムナードで毎週末イベントが実施されれば、来た人がこのまちを気に入って住むことにつながるのではないか。 ・プロムナードをエリプラが管理し有料になってしまふと、少額であっても困る利用者はいるのではないか。 ・プロムナードは市が管理すべき。エリプラ（まちの人）ではマンパワーが足りず、また過去の経験からしても責任を負いきれない。 <p>エリプラの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間で管理ができれば、市でできない活用が可能になる。 ・行政はもっと柔軟な発想が必要ではないか。 ・以前、プロムナードで大道芸のイベントをやった際、主催者の安全管理が不十分で危険だった。参加者への管理は重要。 ・骨董市の後は、周辺の飲食店にお客が流れると聞く。イベントをきっかけに商店街の活性化ができるよ。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロムナードのイベント予定が一目でわかるイベントカレンダーがない。例えば来週「うまいもの市」があるのに、ネットに情報がほとんど出てこない。
	<p>エリプラの取組姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちは個店のがんばりが不可欠。地元の人で盛り上げるべきだし、やる気のある人の芽をつぶさないことが大切。例えば「裏原宿」は、当初ほとんど人通りがなかったが、個性のある小さな店舗が少しずつ客を集めて盛り上がりを作った。 ・人のつながり・交流を重視したい。例えばテナントの人にも自治会に入つてもらい、商店会と自治会が連携したイベントができるとよい。 ・すずらん通りは夜に盛り上がりを見せている。こうした勢いを大切にしたい。

※本議事録は、事務局が記録用に作成したもので、各出席者の確認を得たものではありません。